

令和5年度 第4回 光風荘運営推進会議 議事録

《日 時》 令和5年11月15日（水）午後6時より

《場 所》 高齢者グループホーム光風荘 3階「えんがわ」

《出席者》 委 員：地域代表、家族会代表、有識者…計3名

市 職 員 等：高齢者支援課職員、在宅介護支援センター職員…2名

運 営 側：理事長、光風荘施設長、介護職員…計4名

《議 題》

1. 報告事項

- (1) 入居者、職員の異動について
- (2) 前回会議以降の活動状況について
- (3) 第三者評価受審結果について
- (4) 利用料の改定について
- (5) 新型コロナ陽性者の発生について

2. 行政等からの情報提供

3. その他

■挨拶

「運営」：こんばんは。新型コロナウイルスが落ち着いたのも束の間、インフルエンザが流行しています。お体を大切にしてください。本日は、第4回運営推進会議となります。忌憚のないご意見をいただきたくお願いします。

■会議概要

※ 文中の「委員」は運営推進委員、「運営」は運営側、「市等」は市職員等、「GH」はグループホーム、「特養」は特別養護老人ホームの略。

1. 報告事項

(1) 入居者、職員の異動について

○入居者

- ・9月22日、1階の86歳女性入居者が、特別養護老人ホーム入所のため退居。
- ・9月29日、1階に86歳女性が入居。
- ・11月12日、1階の92歳男性入居者、お看取り。
- ・申込者数は11名、内判定会議通過済みの方は2名。

○職員

- ・特になし

(2) 前回会議以降の活動状況について

日時	行事名	参加人数	内容
9月21日	1階夕涼み会	1階入居者 全員	8月に1階職員のコロナ陽性が判明し、延期していたもの。歌の会の後、皆で白玉団子を手作りし、フルーツ等を添えて食べていただいた。
10月5日	第三者評価 フィードバック		調査員の方に直接訪問いただき、フィードバックを受けた。
10月15日	1階敬老会	1階入居者 全員	2階も同日行う予定であったが、2階職員のコロナ陽性が判明し、経過観察期間内であったため中止。 1階では昼食にお祝い弁当を用意。午後はチーム対応の玉入れゲームを行った。
10月19日	第5小学校 町たんけん		2年生の生活科の職場見学授業の一環で、光風荘にも来ていただいた。1階フロア手前まで入っていただき、生徒さんからの質問に答えた。入居者の方もその様子を見て「可愛いわね」、「偉いわね」と声をかけていらっしやっただ。
10月19日	2階敬老会	2階入居者 全員	コロナの経過観察・職員の療養期間が終了したため、遅れて開催。お祝い弁当は15日の分がキャンセル出来ず、既にお出ししていたため、当日は昼食に栗飯・おやつはフルーツあんみつ、夕食に海鮮丼等、手作りの特別メニューを用意。午後にはチーム対抗の運動会を行った。
10月23日	新型コロナワクチン秋接種 施設内接種	入居者12名 職員2名	10月16日に実施予定であったが、職員のコロナ陽性判明により1週間延期。入居者の中で数名、副反応が現れたが、比較的軽度であった。

○その他

- ・武蔵野市地域包括ケア人材育成センター主催の認知症支援研修において、「心理的アプローチ」のテーマで動画を撮影。研修内で配信される事となった。光風荘についての紹介等も盛り込まれており、知っていただく良い機会にもなると思い、お受けする事となった。

○今後の予定

- ・11月17日、18日に開催される第五小学校の展覧会に声をかけていただいております、少人数ながら伺う予定。新型コロナの流行が始まって以来、初めて外部での催しに参加させていただく事になる。
- ・11月20日、希望される方にインフルエンザの予防接種を行う予定。

【質疑応答・意見交換】

「委員」：武蔵野市地域包括ケア人材育成センターの研修について初めて聞いたが、実際にどのような

撮影をして、どのように活用されるのか。

「運営」：“入居申し込みから契約の終了まで”一連の流れに沿って、事例を交えながら心理面へ配慮している点等について説明を行った。

「委員」：職員にインタビューを行ったのか。

「運営」：施設長が講師となり説明を行った。また、入居者のプライバシーに配慮しながら、日常生活場面についても動画を撮影し、キッチンの構造や入居者が利用している調理器具等を紹介した。

「委員」：武蔵野市内には2か所GHがあるが、今回は光風荘のみか。

「運営」：光風荘以外に、東京都外のGHも参加していると聞いている。

「市等」：1名特別養護老人ホームに異動になった方がいたが、最期まで光風荘で過ごす方はいるのか。

「運営」：光風荘では食事を手作りしている事もあり、重度化するにつれてその方に合わせた食形態で提供するのが難しくなっている。また、2階のみリフト浴を備えているが、機械浴の設備がなく、看取りの前段階でGHでの生活に限界を迎えるケースが大半である。

「市等」：退居の提案はGHから行うのか。

「運営」：GHから提案する事もあるが、最近では医療機関から“今後医療・看護の必要性が増えてくる”といった説明を受け、ご家族から異動を希望されるという事もあった。

(3) 第三者評価 受審結果について

- ・結果の概要について、資料を配布
- ・ご家族様へのアンケートの結果については、「総合的な意見」としては「大変満足」、「満足」のみであったものの、コロナ禍を引きずった状態という事が影響して、「運動・外出の機会を増やしてほしい」というご意見があったという事。また接遇に疑問のある・家族対応が不十分な職員もいる、というご意見については、早急な対応が必要と感じている。新型コロナをきっかけに、電話でのやり取りが増えた事もあり、やり取りに不備が生じているのかもしれない。
- ・職員の自己評価に関しては内容以前に、回答数が全職員数と比較して少なく、周知不足であったという反省点がある。良い点・改善点については、相反する意見もいくつかあり、課題を抽出する必要があると感じている。

【質疑応答・意見交換】

「運営」：「接遇に疑問がある・家族対応が不十分な職員」とあるが、研修の予定はあるのか。

「運営」：ご家族のアンケート内容は、光風荘では確認ができないルールがあるため、具体的にどのような問題があったのか特定ができないものの、新型コロナの流行により電話でのやり取りも多くなっており、新人職員も含めてご家族とのやり取りに関する研修などを改めて周知することが必要だと考えている。

「運営」：このような意見があったことは周知する必要がある。

「市等」：初めの報告で職員の異動はなかったと報告があったが、第三者評価の職員アンケート中に職員不足という回答があった。基準を満たす職員はいるが、やりたいことを行うには不十分だと

という意味か。

「運営」：各フロアに早番・日勤・遅番・夜勤を配置することになっている。この職員配置は崩れていない。ただし、常勤職員が少ない状況が続いている。約10年前は、各フロアにユニットリーダーと計画作成担当者が別々に配置されていた。しかし、現在では常勤職員が各フロアに1名ずつになっている。施設長は、両フロアを兼務しているなど余裕があるとはいいがたい。また、派遣職員1名がいるので、全員の直接雇用を目指すなら職員が不足しているともいえる。

「市等」：一人退職者が出ると次の職員の採用は厳しい状況なのか。

「運営」：昨年、入職した職員が数名おり、いろいろ悩みがある中で一年以上働いてもらっている状況である。

「市等」：私が勤務する母体は特別養護老人ホームであるが、退職理由としてGHで働いてみたいという人が多い。

「運営」：職員の気持ちと実際の勤務の動きのギャップは、どの職場にもある。職員一人一人は前向きな方が多いが、やりたいことと実際の業務の多さで疲弊してしまう。そのバランスが難しい。理想を求めることは必要であるが、実際のギャップとの折り合いをつけることが大事になってくる。

(4) 利用料の改定について

- ・10月末に、改定に関する提案書を、ご家族にお送りした。提案書に対するご意見は現時点ではお一人しか頂いておらず、今月改めてお知らせをお送りする予定。

【質疑応答・意見交換】

「市等」：簡単に利用料改定の中身について教えてほしい。

「運営」：第一に、食材料費の高騰と調理員への人件費に対応するために食費を値上げすること。第二に、設備の修繕費用の積み立てに余裕がなくなったことに対応するために共益費を値上げするものである。

「運営」：特別養護老人ホームにおいても二度、値上げの説明を行った。光風荘は、長期に渡って利用料の値上げを行ってこなかった。そのため、値上げに反対するという意見は少ないのではないかと予想している。意見があがれば、丁寧に説明する予定である。最終的にご理解が得られれば、値上げを行いたい。

(5) 新型コロナ陽性者の発生について

- ・10月上旬に、2階の職員2名の新型コロナ陽性が確認されている。
- ・1名は無症状、1名は有症状。2名が直接交流した最終日と、それぞれの発症日から、別経路での感染が疑われる。
- ・2階の入居者の方に対しては、数日間はある程度居室で過ごしていただいて経過観察。発症者なく、通常の生活へと戻った。

【質疑応答・意見交換】

「委員」：職員のコロナ感染については、これまでの運営推進会議でも何度か報告されていたが、フロア内での陽性者発生に伴い、入居者の生活には影響があるのか。

「運営」：確かに入居者の生活に影響が出ている。新型コロナウイルスについて理解できる方については、情報を伝えて居室で過ごしていただくよう協力をいただいている。ただし、新型コロナウイルスの感染力の怖さを理解できずずっと居室で過ごすのは辛いという方もいる。そのため徹底的な隔離は厳しく、交代でフロアにて過ごしてもらおう等の対応も行った。また、入居者の家事活動も制限されてしまうため、運動不足になりストレスに繋がっている。

「運営」：世の中の新型コロナウイルスに対する考え方の変化があるが、光風荘は介護施設なので慎重な対応が必要だと思われる。

「委員」：フロアに新型コロナウイルス感染者が出た場合は、マスクの着用やうがい・手洗い等の声かけのみを行うのか。

「運営」：うがい・手洗い等の声かけを行っているが、マスクについては着用できない入居者もいる。ただし、新型コロナウイルスが流行した後に入居された方は、普段からマスクを着けることに抵抗が少ないという傾向もある。

2. 行政等からの情報提供

「市等」：①令和5年度人材育成促進支援事業について

介護現場における生産性の向上を図ることを目的として現在の職員を育成する仕組みづくりと現状の課題を解決するための取り組みについて補助する東京都の事業である。例えば、就業規則の見直しに当たって社会保険労務士に払う報酬を支援したり、職員が受ける研修にかかる費用や代替えに派遣職員を入れたことによる費用を助成したりするなど、総合的人材育成のための補助金が新設された。

②12月2日に「ケアオリンピック武蔵野2023」が開催される。昨年まではスイングホールのみでの開催であったが、今年は11階のレインボーサロンも活用し一般市民がより参加できるようになった。介護現場の生産性向上に向けた講演会や先進的な事例の発表などが行われる。

③12月1日に武蔵野市で3か所目の認知症高齢者グループホームが開設される。場所は、武蔵野市境南町で名称は「たのしい家武蔵境」となる。

3. その他

・次回の運営推進会議は1月17日（水）18時からの予定。